

28年度 東京大 推薦入試

平成 28 年度 東京大「推薦入試」 導入初年度 志願者速報！

100 人程度の募集に対して志願者 173 人！

旺文社 教育情報センター 27 年 11 月 9 日

平成 28 年度入試より、東京大・京都大において新たに推薦・AO 入試が導入される(東京大は全学部推薦入試)。両大学ともほぼ全ての学部において 11 月 6 日までに出願を締め切り、東京大は本日現在の志願者数を発表した。今後修正の入る可能性もあるが、確定に近い数値と見てよさそうだ。

◆教養、理、医一医で高倍率！

以下に各学部の志願者数を一覧で示した。

なお、志願倍率は募集人数の「程度」を無視したうえ、便宜上算出した。

11月9日現在

学部・学科	募集人員	出願者数 (受領通数)	志願倍率
法学部	10人程度	24	約2.4
経済学部	10人程度	7	約0.7
文学部	10人程度	10	約1.0
教育学部	5人程度	9	約1.8
教養学部	5人程度	17	約3.4
工学部	30人程度	47	約1.6
理学部	10人程度	32	約3.2
農学部	10人程度	12	約1.2
薬学部	5人程度	4	約0.8
医学部 医学科	3人程度	9	約3.0
医学部 健康総合科学科	2人程度	2	約1.0
計	100人程度	173	約1.73

※志願倍率は当編集部で便宜上、算出したもの。
募集人員の「～程度」を、その人数とみなして算出。

・高校 1 校あたりの推薦人数は男女各 1 名までであったが、定員 100 名のところ、合計 173 名の志願者が集まった。

・定員に対する志願者の割合は教養、理学部、医学部医学科が多く、反対に経済、薬学部は定員に対して志願者が少なかった。

なお、同じく今月 6 日に出願を締め切った京都大も本日志願者数を公表した。以下の記事を参照してほしい。

平成 28 年度 京都大「特色入試」導入初年度 志願者速報！

http://eic.obunsha.co.jp/resource/pdf/exam_info/2015/1109_n.pdf

【参考】東京大「推薦入試」概要

入試日程(予定)	出願、必要書類提出(15年11月2日～6日)→書類審査→1次選考合格発表(12月1日)→2次選考(12月19日・20日)→センター試験(16年1月16日・17日)→最終合格発表(2月10日)：セ試の基準点は概ね8割以上。ただし医学部医学科のみ、900点中780点程度)						
提出書類(共通)	入学志願票、調査書、志願理由書、高校長の推薦書、学習状況調査票(経済・教養・農・薬・医／経済、医-医は教科・科目別の学年順位の記載が必要)						
学部(学科)	募集人員	セ試の科目数	提出資料(推薦要件に合致することを証明するもの)の例示	2次選考の試験日	2次選考の方法(1次選考合格者対象)	入学時の所属科類(注2)	備考(学業成績・英語力に関する基準値など)
法	10		論文(6千字以上)、表彰状・新聞記事等、国際的な入学資格試験の成績証明、外国語検定の証明書、など	12/19	グループ・ディスカッション、個別面接	文Ⅰ	学業成績が各校の上位概ね5%以内
経済	10	5(6)教科8科目(英語リスニングを含む)	科学オリンピック(数学など)の高成績の証明、外国語検定の証明書、全国大会・コンクールの入賞記録、留学を含む国際的活動で高評価を受けた証明(新聞記事など)	12/19	個別面接(30分～1時間程度)	文Ⅱ	英語、数学、地歴・公民のうち2教科の成績が、校内の上位10%以内
文	10		論文(4～8千字程度)、外国語検定の証明書、受賞の証明書(800字程度の要旨も)。論文を重視	12/19・20の両日	12/19＝小論文、12/20＝プレゼンテーション(10分：ポスター1枚のみ使用可)・質疑応答	文Ⅲ	
教育	5	5(6)教科8科目または9教科7科目(英語リスニングを含む)	論文・作品・発表、国際的または全国的コンテスト等での受賞歴等の証明、など	12/19・20の両日	個別面接(発表や課題遂行<筆記による文章作成など>を含む)	文Ⅲ、理Ⅰ・Ⅱ	
教養	5		在校中の論文(校長が担任教員による説明も)、科学オリンピックの成績、外国語検定の証明書、など	12/19	小論文、面接(必要に応じ、外国語の面接を含む)	文Ⅰ～Ⅲ、理Ⅰ～Ⅱ	
工	30		課題小論文、高校在学中の特色ある活動について推薦要件とするに足る客観資料と活動内容説明書(A4で2ページ)、その活動を知る人物の推薦書、(あれば)国際的な入学資格試験の成績証明、外国語検定の証明書	12/19・20のいずれか(学部指定日)	面接など		
理	10		高校在学中の活動・実績について推薦要件とするに足る客観資料、(あれば)外国語検定の証明書	12/20	個別面接		
農	10		生物学に関する研究成果・論文、生物学・農学に関する活動実績の資料、生物学オリンピック等の各種コンテストの成績	12/20	面接(課題を設定、生物学の能力評価を含む)	理Ⅰ・Ⅱ	生物を履修していること
薬	5	5教科7科目(英語リスニングを含む)	科学オリンピックなど各種コンテストの高成績の証明、高度な英語力の証明*、留学経験の証明と今後どう活かすかの説明文、学会・研究会での発表の証明資料・作成論文	12/19	個別面接(活動・志望理由等に関する発表。A4で2ページ程度の資料配布可)		
医(医)	3		科学オリンピックなど各種コンテストの高成績の証明、高度な英語力の証明*、国際経験の説明資料(5千字以内)		プレゼンテーション(発表用ポスターを事前に作成。発表の概略<A4で5ページ以内、健康総合科学＝3ページ以内>を出願時に提出)・質疑応答	理Ⅲ	* = TOEFL-iBT100点以上、またはIELTS7点以上など
医(健康総合科学)	2		生物学オリンピックなど各種コンテストの高成績の証明、高度な英語力の証明*、国際ボランティアなど課外活動体験の説明(8千字以内)、組織のリーダー的役割の経験の説明資料(5千字以内)	12/19・20のいずれか(学部指定日)		理Ⅱ	

(注1)推薦要件や提出書類は学部等によって異なる。〈わくしは、「選抜要項」や、大学のホームページを参照のこと。〉

(注2)入学後は一般入試合格者と同様、学部等が指定する教養学部の各科類に所属。前期課程(通常は1・2年次)終了後は、出願時に志望した学部等へ進学できる(「進学振り分け」の対象外)。

(注3)募集人員はおおまかなもの(～程度)。満たない場合は、残りを各学部に対応する科類の前期日程に繰り入れる。

(注4)一般入試(前期日程)との併願可。ただし、推薦入試合格者は、前期日程の合格者にならない。

(注5)セ試の基準点は、概ね8割(720点程度)以上。ただし、医(医)のみ780点程度以上。

※東京大推薦入試の内容については以下の記事を参照。

2016 年度入試から導入！東京大「推薦入試」vs 京都大「特色入試」！

<http://eic.obunsha.co.jp/analysis/201508-02/html/1>